

地域との連携強化を図り 一体感のあるサッカークラブへ

サッカーJ1リーグの名古屋グランパスエイト社長に久米一正氏が今年四月、就任した。柏レイソル、清水エスパルス、グランパスでGMとしてチーム強化を担当、また日本サッカー協会の重鎮として日本サッカーの発展に寄与してきた。クラブのトップとして豊富な経験をどう生かすか。その手腕が注目される「熱血社長」に聞いた。

(聞き手・編集部)

——社長は中央大学サッカー部で活躍し、日立製作所に入社しましたが、現役引退後はサラリーマンも経験しました。

久米 入社当時、日立製作所サッカー部は日本サッカーリーグ(Jリーグの前身)に参戦していた。私も選手としてプレーしました。会社ではコンピュータ営業本部に配属されて、午前中は営業のお手伝い。午後から練習という

日々でした。三十歳のときに現役を引退して仕事に専念することになりました。

政府系金融機関に大型コンピュータを売り込むという仕事で、そのころは銀行のオンライン化で仕事は多かったですね。当初はわからない事ばかりで苦労しましたが、多くの方に助けていただきました。四年でサッカー部の強化担当に復帰しましたが、営業で

の苦労は、その後の人生の糧になっていきます。

——一九九三年にJリーグ発足後はレイソル、エスパルス、グランパスでGMとして手腕を発揮し、JリーグのGM像を確立しました。

久米 GMというと選手の獲得などチームの強化だけが注目されますが、「クラブの質をどう向上させるか」が仕事です。つまりチーム強化に加えて、経営の質の向上、収益の拡大をしっかりやることも仕事です。このため、スポンサーの皆さまや地域の方たち、メディアなどクラブを支えてくださる人々と良い関係をつくって、クラブとそうした方たちとの潤滑油

になることが求められます。社長の仕事とほぼ同じですが、クラブを学校に例えると社長が校長先生でGMは教頭先生と言えますね。

——グランパスはJリーグ発足時に名を連ねた一〇クラブ、いわゆる「オリジナル10」の一つ。伝統のクラブの新たな社長としての抱負は？

久米 グランパスの商品としての価値、魅力を高めること、そのためにも常勝クラブとなり注目されるクラブにすることです。また、この地域をスポーツの力で明るくする。そのリーダーとして、お客さまが観ていてわくわく、どきどきするゲームを提供することです。



久米 一正 (くめ かずまさ)
1955年、浜松市生まれ。浜名高校—中央大学—日立製作所でサッカー選手として活躍。現役引退後はJリーグのレイソル、エスパルスで強化担当、08年にグランパスGM。チーム強化を図り10年にクラブ初のリーグ制覇。日本サッカー協会ではJリーグ発足に尽力。今年4月から現職。協会評議員・Jリーグ理事を兼務。

——シーズン初めにクラブが発表した「愛されたいクラブ宣言」もそうした決意の現れですね。
久米 ホームタウンの皆さまにもっと楽しんでいただきたい、そして愛されるクラブになる。「お客さま満足度」が高く、地域と一体感のあるスポーツコンテンツにしようということ。Jクラブとしての原点を明確に打ち出したものです。

——スタジアムの観客動員はクラブの収益に直結します。来場者アップのための施策は？
久米 やはり、チームが強くなければ、お客さまに「投資」していただけません。今シーズン前半は結果を出せていませんが、アジアや世界で戦えるクラブを目指して、もう一歩踏み込んでチーム強化を図り、チームのスタイルを確立したいと思います。

——グランパスは名古屋市の瑞穂陸上競技場と豊田市の豊田スタジアムをホームスタジアムにしています。ただ瑞穂陸上競技場は老朽化が懸念されており、名古屋に新ホームスタジアムを望む声があります。
久米 グランパスとしてでも自治体などホームタウンの皆さまと連携して行動していきます。二〇二七年にはリニア新幹線駅が名古屋にできます。それまでに名古屋を魅力ある街にしたいということは、地域の皆さまもお考えではないかと思っています。その一つとして、サッカーを役立ててほしい。グランパスのホームスタジアムとなる新しいスタジアムをつくれば、わくわくする劇場空間として街の魅力アップにつながると思います。時間はかかると思いますがぜひ実現したい。私としては、繁華街の中にそういう劇場空間があることが理想ですね。

——社長は、浜松市のご出身ですね。静岡県人から見た名古屋財界、名古屋人の気質は？
久米 浜松の間は、静岡県の中でも「やらまいか!」の精神、前向きな気質です。名古屋に来て八年になります。名古屋人と浜松人の気質はよく似ているなというのを実感です。ともに、古くからのものづくりの街ですし、年長者や家族関係を大切に。プロ意識が高く、仕事に誇りを持った方が多い。古き良き昭和の日本の気質、日本人が大切にしてきた「品格」が息づいている地域だと感じます。

——古くから農林水産物が豊富にある地域で心に余裕があるため、人の面倒を見たくないのでないでしょうか。私も大変お世話になっています。ただ、それがよそから来た方には「わざわざわしい」と感じて、「よそ者が入りにくい」などと誤った印象が語られるようになったのではないのでしょうか。

——最後に、愛知県民、政財界へのメッセージをお願いします。
久米 この地域はグランパスだけでなく、プロ野球のドラゴンズ、アマチュア野球、フットサル、バスケットボール、スケートなど多種多様なスポーツが盛んです。元気と笑顔のあふれるまちづくりのためにスポーツ、そしてグランパスを使っていたいただきたいと考えます。

——ありがとうございました。